

Accuphase

PRECISION STEREO PREAMPLIFIER

プレジジョン・ステレオ・プリアンプ

C-275V

取扱説明書



ご使用の前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きかえにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

3年間の品質保証と保証書

当社製品の品質保証は3年間です。付属のお客様カードに必要事項を記入の上、お早めになるべく10日以内に「ご返送ください。お客様カードと引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、当社品質保証部またはお求めの当社製品取扱店へ、直ちにご連絡ください。

尚、品質保証書につきましては日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.

マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。

警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。

注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

目次

1. 各部の名前	1
ディスプレイ部、オプションAD-275V	2
2. ⚠ 警告 安全上必ずお守りください / ⚠ 注意	3
3. 接続図	4
4. 各部の動作説明	5 ~ 10
5. リモート・コントロール	11
6. ご使用方法	12
CDをお楽しみになる場合	12
アナログ・ディスク(AD)をお楽しみになる場合	12
チューナーで放送を聴く場合	12
テープレコーダーで録音・再生をする場合	12, 13
7. 保証特性	14
8. 特性グラフ	15
9. ブロック・ダイアグラム	16
10. 故障かな?と思われるときは	17
11. アフターサービスについて	18

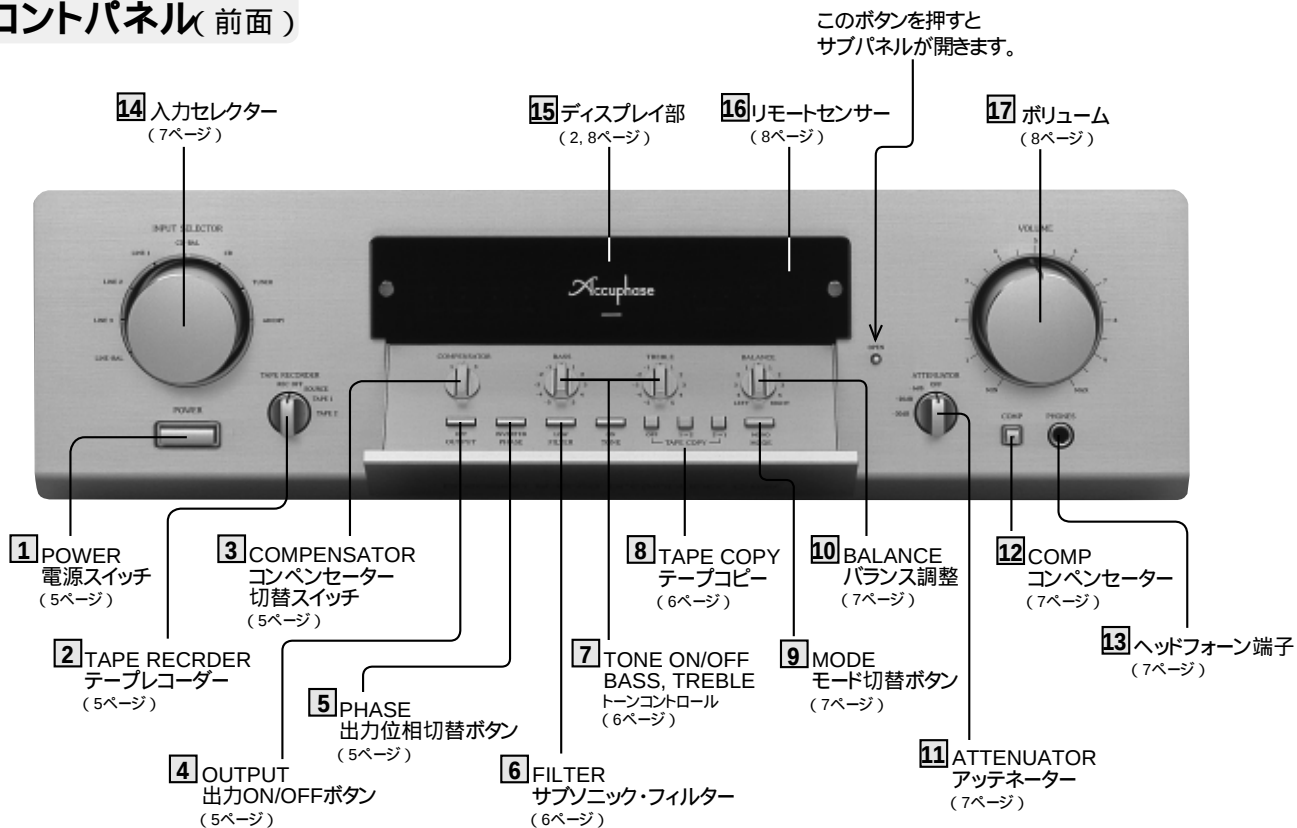
付属品を確認します

- 取扱説明書 1冊
- 安全上のご注意 1枚
- お客様カード 1枚
- AC電源コード(2m) 1本
- プラグ付オーディオ・ケーブル(1m) 1組
- 単4形乾電池 2個
- リモートコマンダーRC-26 1個

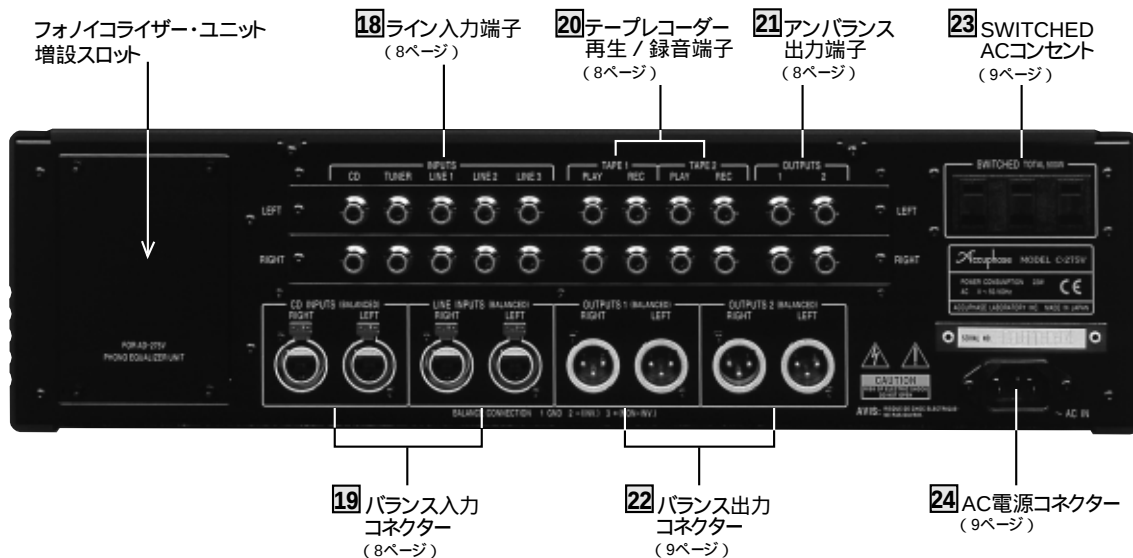
1. 各部の名前

詳しい説明は「各部の動作説明」(5～10ページ)を参照してください。

フロントパネル(前面)



リアパネル(後面)



15

ディスプレイ部

各ボタンの動作状態をLED点灯で表示します。



フォノイコライザー・ユニット AD-275V 希望小売価格 100,000円(税別)

アナログ・レコードの再生には、「フォノイコライザー・ユニットAD-275V」の増設が必要です。

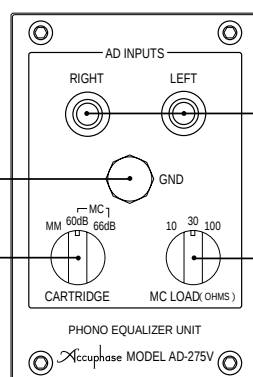
C-275に使用したAD-275とも互換性がありますので、同様に使用することができます。

26 GND —
アース端子(10ページ)

27 イコライザー・ゲイン
切替スイッチ(10ページ)

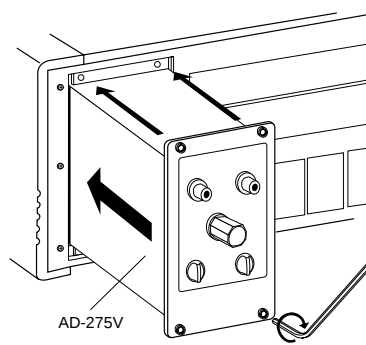
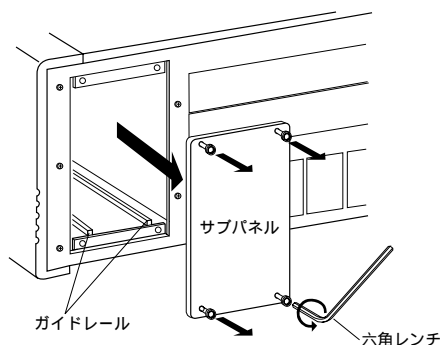
25 アナログ・プレーヤー
入力端子(10ページ)

28 MC LOAD
MCカートリッジ
負荷インピーダンス
切替スイッチ(10ページ)



AD-275Vの取り付け方法

- C-275Vの電源スイッチをOFFにします。
- リアパネル側の増設用スロットのサブパネルをはずします。
ネジ4本は、付属の六角レンチを使用してはずします。
- C-275V本体下側の2本のガイドレールに沿って、AD-275Vを挿入します。コネクターに当て止まったら、少し力を入れてコネクターを完全に差し込みます。(パネル面が同一になればOKです。)
- はずした4本のネジで確実に固定します。



注意

- オプションを抜き差しするときは、必ずC-275Vの電源を切ってから行なう。電源を入れたまま抜き差ししますと、故障の原因となります。
- 部品面やハンダ面、コネクターの接点部分を手で触らない。接触不良や回路が故障する原因となります。
- オプション・ユニットの取り付けネジ(4カ所)は完全に締める。ネジがゆるんでいると、端子がグラウンドから浮いて接触不良となり、故障の原因となります。

2. 警告 安全上必ずお守りください

ご使用の前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

- 電源は必ずAC(交流)100V、50Hz/60Hzを使用する。
 - ・ AC100V(50Hz/60Hz)以外で使用すると、感電や火災の原因となります。
- 電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。
 - ・ 付属以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
 - ・ 付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全です。接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。
- 脚の交換は危険ですから行わない。取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電故障の原因になります。
- 密閉されたラック等には絶対に設置しない。通風が悪いと機器の温度が上がり火災や故障の原因となります。
- トップ・プレートや底板は絶対にはずさない。内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。
- 次の場合には、まず本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。発煙など異常がなくなったことを確認して、当社品質保証部または当社製品取扱店にご連絡ください。
 - ・ 内部に水や薬品がかかった場合。
 - ・ 内部に異物(ヘアピン、釘、硬貨などや燃えやすい物)が入った場合。
 - ・ 故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。
 - ・ 落としたり、破損した場合。

注意

- 設置場所について
次のような場所への設置はさけてください。
 - ・ 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
 - ・ 直射日光の当たるところ
 - ・ 暖房器具の近く
 - ・ 振動や傾斜のある不安定な場所
- パワーアンプなど他の機器と直接重ねて使用しない。
- バランス用とアンバランス用ケーブルは同時に接続して使用しない。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。
- 入・出力コードを接続する場合は、必ず各機器の電源を切る。
RCAタイプのピンプラグをジャックから抜き差しするときは、一瞬グラウンド側が浮いた状態になるため、大きなショック・ノイズを発生し、スピーカーを破損する原因となります。
- 長期間使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源スイッチのOFF直後(10秒以内)に再びONしない。ノイズ発生などの原因となることがあります。
- 出力端子などに接点保護剤などを絶対に使用しない。樹脂部が経年変化で破損して感電や故障の原因になります。
- アナログ・ディスクを再生する場合
 - ・ 別売のオプション、「フォノイコライザー・ユニットAD-275V」をリアパネルのスロットに増設してください。
 - ・ オプション・ユニットを抜き差しする場合には、必ずC-275Vの電源を切る。
 - ・ レコードプレーヤーなどを操作するときは、必ず本機のボリュームを下る。特に、カートリッジを上げたり、下げたりするときは、ボリュームを下げないとスピーカーを破損する原因となります。

お手入れ

- ・ お手入れの場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 本体のお手入れは、柔らかい布を使用してください。固く絞った布で水拭きし、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー系の液体は、表面を傷めますので使わないでください。

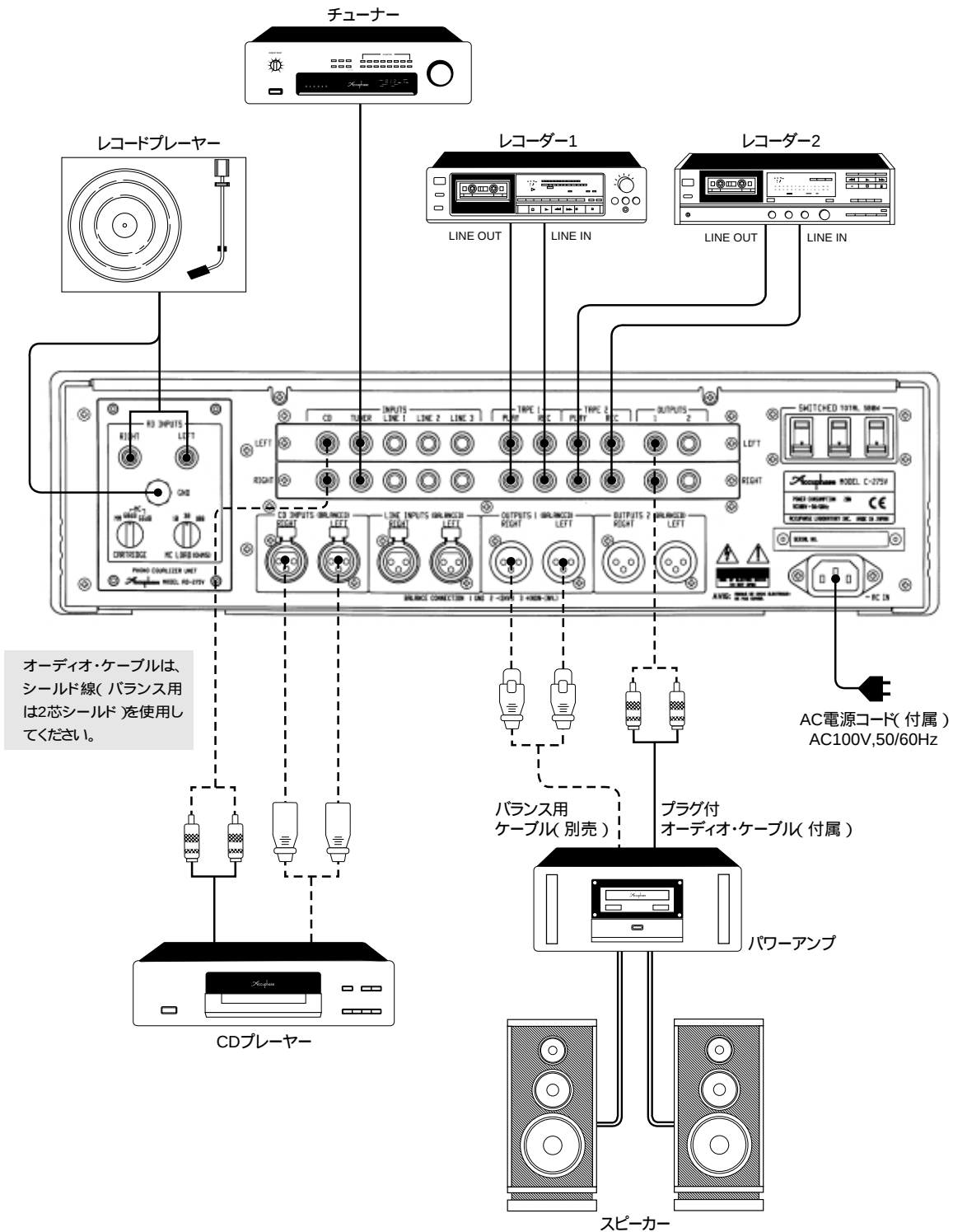
3. 接続図

— 下のイラストは、オプションのフォノイコライザー・ユニットAD-275Vを増設した場合の接続例です。



注意

- 接続するときは、かならず各機器の電源を切り、LEFT(左) RIGHT(右) を正しく接続してください。
- バランス用とアンバランス用ケーブルは同時に接続して使用しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。



4. 各部の動作説明

1 POWER — 電源スイッチ

押すと電源が入り、再び押すと切れます。電源を入れてから回路が安定するまで約4秒間は、ミュ - ティング回路が作動しますので出力はありません。

2 TAPE RECORDER — テープモニター、録音出力ON / OFFスイッチ

REC OFF

通常(録音しない場合)はこのポジションにします。入力セクターで選択するプログラムソースを演奏しますが、録音用“REC”端子に信号は出力されません。

SOURCE

録音する場合にはこのポジションにします。入力セクターで選択されたプログラムソースを演奏すると同時に、“REC”端子に信号が出力され、録音が可能になります。

TAPE 1, 2

テープ再生をするときには、リアパネルのTAPE 1、TAPE 2へ接続したテープレコーダーをこのスイッチで選択します。録音時にこのポジションに切り替えると、そのとき録音している状況をモニターすることができます(3ヘッド・テープレコーダーの場合)。

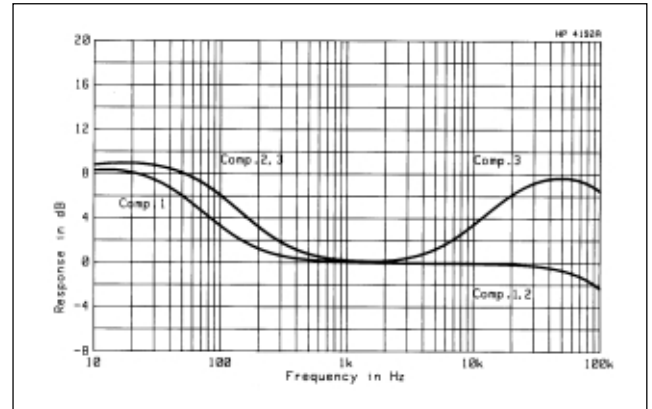
3 COMPENSATOR — コンペンセ - タ - 切替スイッチ

小音量で聴く場合の聴感上のエネルギー・バランスを調整するスイッチです。人間の聴感特性はボリュームを下げたときには、そのときの音量によって低音・高音が不足してきます。この量感を補うために、このスイッチが大変有効です。

12のボタンを押して“ON”(LED点灯)のとき作動

- 1 : 低音だけを100Hzで + 3dB増強
- 2 : 低音だけを100Hzで + 6dB増強
- 3 : 100Hzを + 6dB、高音域の20kHzを + 6dB増強

*増強する量は、ボリュームの位置による変化はありません。



コンペンセーター特性

4 OUTPUT — 出力ON/OFFボタン

OUTPUTS端子からの出力信号をON/OFFするボタンです。



- 押して“OFF” : LED点灯
- 再び押すと“ON” : LED消灯

ヘッドフォンだけで聴く場合には、出力をOFFにしてください。

5 PHASE — 出力位相切替ボタン

出力の位相を切り替えます。

通常出力信号は入力信号と同相ですが、このボタンを押すと出力の位相が反転(180°)して、出力信号は入力信号と逆相になります。



- 押して“INVERTED”(逆相) : LED点灯
- 再び押すと同相 : LED消灯

逆相時のバランス出力コネクタの極性は、次のようになります。

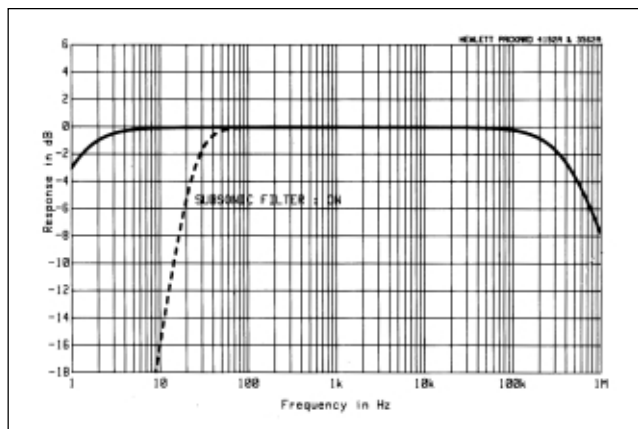
- ⦿ : グラウンド(変化しません)
- ⊗ : インバート(-) → ノン・インバート(+)
- ⊙ : ノン・インバート(+) → インバート(-)

6 FILTER — サブソニック・フィルター

このフィルターは、可聴帯域外の超低域25Hz以下を12dB/octaveという急峻な特性でカットし、超低域ノイズが可聴帯域内へ悪影響をおよぼすことを防ぎます。アナログ・レコードに大きな反りがあったり、超低域の振動によりウーファーがゆれたりするときに大変有効です。



- 押して“ ON ” : LED点灯
- 再び押すと“ OFF ”: LED消灯



サブソニック・フィルター特性

7 TONE、BASS、TREBLE — トーンコントロール

BASS(低音)/TREBLE(高音)コントロールの作動をON/OFFするボタンです。



- 押して“ ON ” : LED点灯
- 再び押すと“ OFF ”: LED消灯

- * “ ON ”でBASS(低音)/TREBLE(高音)コントロールができます。
- * “ OFF ”にするとBASS/TREBLEツマミの位置に関係なく、フラットな特性が得られます。

BASS - 低音コントロール

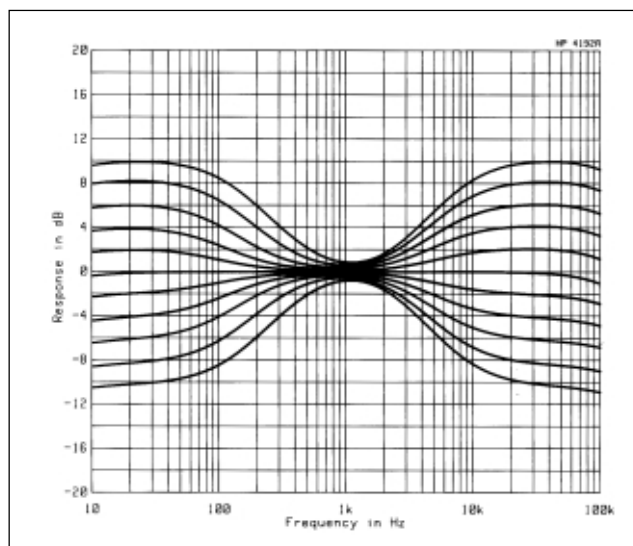
センター(0)から右にまわすと低音増強、左にまわすと減衰します。

- ターンオーバー周波数 : 300Hz
- 変化量 : 50Hzで ± 10 dB

TREBLE - 高音コントロール

センター(0)から右にまわすと高音増強、左にまわすと減衰します。

- ターンオーバー周波数 : 3kHz
- 変化量 : 20kHzで ± 10 dB



トーンコントロール特性

8 TAPE COPY — テ - プコピ - ・ボタン

テープレコーダーを2台使って、相互にテープのコピーをするときにこのスイッチを使います。

1→2、2→1: LED点灯

TAPE-1に接続したテープレコーダーをマスターにして、TAPE-2のテープレコーダーにコピーする場合は「1→2」ポジションにします。逆の場合は「2→1」にします。

OFF: LED消灯

コピーしない場合には、このポジションにします。

9 MODE — モ - ド切替ボタン

ステレオとモノフォニックを切り替えます。
モノフォニックでは、左右チャンネルの信号がミックスされ、スピーカーの中央で聴くと音像はセンターに定位します。



- 押して“ MONO ” (モノフォニック): LED点灯
- 再び押すとステレオ再生 : LED消灯

! 注意

録音をするとき“ MONO ”の状態では、レコ - ディング出力もモノフォニックになりますので、注意してください。

10 BALANCE — バランス調整

左右の音量バランスを調整することができます。

- 通常はセンター(0)で使います。

11 ATTENUATOR — アッテネ - タ -

本機出力レベルを標準状態から瞬時に音量を下げるができます。

減衰レベルは - 6dB、- 20dB、- 30dBの3種類から選択できます。

12 COMP — コンペ - セ - タ - ON/OFFボタン

“ ON ”にすると[3] COMPENSATORスイッチで選択された動作が有効になります。



- 押して“ ON ” : LED点灯
- 再び押すと“ OFF ”: LED消灯

13 PHONES — ヘッドフォン出力ジャック

ヘッドフォンのプラグをこのジャックに差し込んでください。

- ヘッドフォンだけで聴く場合には、OUTPUTボタンで出力をOFFにしてください。
- 音量調整はメインボリュームを使用します。
- インピーダンス4 ~ 100 Ωのヘッドフォンをご使用ください。

14 INPUT SELECTOR — 入力セクタ -

リアパネルの各入力端子を選択し、LEDの点灯で表示します。
リモートコマンダーRC-26でも同様に切り替えることができます。

CD、TUNER、LINE 1 ~ LINE 3

一般的なアンバランス方式で、リアパネル[18]の各入力端子へ接続した機器を選択します。

CD-BAL、LINE-BAL

リアパネル[19]へ、バランス方式で入力した機器を選択します。

AD(OP)

オプションで増設したAD-275Vの[25]端子へ接続した、アナログ・ディスク・プレーヤーを選択します。

- このつまみには指標がなく、エンドレス(ストッパーのない)ロータリースイッチを使用しています。

15 ディスプレイ部

各ボタンの動作ポジションなどを、LEDの点灯により表示します。

LED点灯	動作状態
OUTPUT OFF	4 OUTPUT : 出力"OFF"
PHASE INV	5 PHASE : 出力の位相が反転 "INVERTED"
FILTER ON	6 FILTER : 動作状態"ON"
TONE ON	7 BASS、TREBLE : 動作状態 " ON "
TAPE COPY " 1→2 ", " 2→1 "	8 TAPE COPY : テープコピー作動状態
MONO	9 MODE : モノフォニック"MONO"

16 REMOTE — リモートセンサー

付属リモート・コマンダーRC-26の赤外線信号を受信する窓です。リモート・コマンダーの発光部をここに向けてください。

17 VOLUME — ボリューム調整

右へ回すと音量が増大します。リモート・コマンダーRC-26でも同様に作動させることができます。プログラム・ソースを切り替えたり電源を切るときなどはボリュームを下げることを習慣づけましょう。

18 CD、TUNER、LINE 1 ~ LINE 3 — ライン入力端子

アンバランス方式の一般的なハイレベル入力端子です。

19 CD/LINE INPUTS(BALANCED) — バランス入力コネクタ -

外来誘導雑音の排除能力に優れた、バランス伝送用入力コネクタです。CDプレーヤーやチューナーなどのバランス出力を持つ機器と接続してください。

ピンの極性は、

- : グラウンド
- : インバート(-)
- : ノン・インバート(+)

となっていますので、ソース側の機器との極性を合わせて正しく接続してください。

・バランス用オーディオ・ケーブルは当社で別売しています。

20 TAPE 1/TAPE 2 — テープレコ - ダ - 再生 / 録音端子

2系統のレコーダーを接続することができます。

" PLAY "端子	レコーダーの" LINE OUT "
" REC "端子	レコーダーの" LINE IN "

* REC端子の出力信号は、本機のボリュームやコンペンセーターなどの影響を受けません。

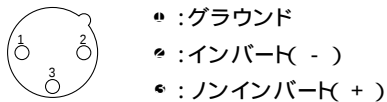
* MODEボタンがMONOになっていると、REC端子の信号もモノフォニックになります。録音時にはご注意ください。

21 OUTPUTS 1、2 — 出力端子(アンバランス)

通常のピンプラグ付オーディオ・ケーブルで、パワーアンプの入力端子と接続します。

22 OUTPUTS 1、2 — バランス出力コネクター

外来誘導雑音の排除能力に優れた、バランス伝送用出力コネクターです。パワーアンプが、バランス入力コネクターを装備している場合には、良質なオーディオ信号の伝送が可能です。ピンの極性は、



となっていますので、パワーアンプ側の極性を確認して接続してください。

- ・パワーアンプ側の極性が本機と逆の場合は、PHASEボタンで合わせます。
- ・バランス用オーディオ・ケーブルは当社で別売しています。

23 SWITCHED — 電源スイッチと連動するACコンセント

本機と接続する機器の電源をこのコンセントから取ると、電源スイッチをON/OFFすることにより、他の機器の電源も同時にON/OFFすることができます。

- * 接続する機器の消費電力の合計が500Wを超えないようにご注意ください。

24 AC電源コネクター

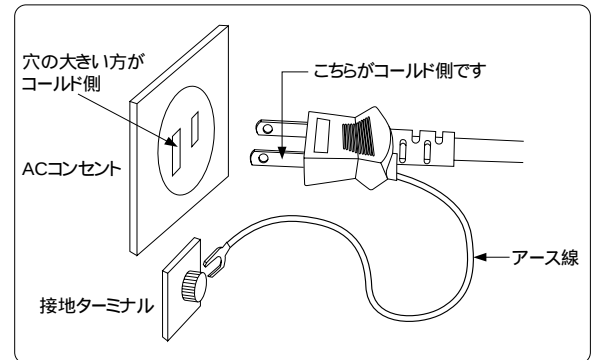
付属の電源コードを接続します。



警告

電源は必ずAC100V、50/60Hz家庭用コンセントを使用する。

- 電源コードに付いているアース線の接続
付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全です。接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。



- 電源コードの極性について
本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を厳密に管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

! 注意

室内コンセントの極性は一般に、向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。本機のSWITCHEDコンセントは、下側がコールド側です。大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示する場合があります。

! 警告

内部をあけると危険です
電源が入らなくなった場合には、内部で異常が発生した可能性があります。電源コードを抜いて、必ず当社の品質保証部または当社製品取扱店へご連絡ください。

25 AD INPUTS — アナログ・プレーヤー入力端子

アナログディスク・プレーヤーの出力ケーブルを接続します。
本機は高性能ハイゲイン・イコライザーを搭載していますから、
いかなるカートリッジにも対応することができます。

26 GND — アース端子

アナログ・プレーヤーの出力ケーブルと一緒に出ているアース
線を接続してください。

27 CARTRIDGE — イコライザー・ゲイン切替スイッチ

イコライザーアンプのゲイン(利得)を切り替えるスイッチです。

MM

高出力電圧のMM(ムービング・マグネット)型カートリッジ
を使用するときはこのポジションにします。このポジション
の入力インピーダンスは47k Ω です。

MC/60dB、MC/66dB

出力電圧が低いMC(ムービング・コイル)型カートリッジを
使用するときはこのポジションにします。
カートリッジの出力に応じて、“MC/60dB”か“MC/66dB”
を選択します。

- MM型カートリッジ使用中に、“MC”ポジションにしますと、
音量が大きくなりインピーダンスの関係で高域が出ないバラ
ンスのくずれた音になりますのでご注意ください。
- MC型カートリッジ使用中の場合には“MC”ポジションにして
から、負荷インピーダンスを選択してください。
- 無信号状態で、ボリュームの位置を変えずにゲインを上げら
ると、能率の高いスピーカーではノイズが増加します。これはア
ンプのノイズレベルが変わらず、増幅度が上がったための現
象です。
- 入力セレクターが“AD”ポジションの時、このスイッチを切り
替えますと、ミュート回路が作動して約1秒間音が出ま
せん。

28 MC LOAD(OHMS) — MCカートリッジ負荷インピーダンス切替スイッチ

MCカートリッジの負荷インピーダンス(イコライザーアンプの入
力インピーダンス)を切り換えるスイッチです。

一般的には、MCカートリッジの内部インピーダンスが
20 Ω 以上 “100” Ω ポジション、
20 Ω 以下 “30” Ω ポジションまたは“10” Ω ポジション

- カートリッジの内部インピーダンスの2~3倍以上を目安にしま
すが、実際に試聴して良い音質の得られるインピーダンスを
決定してください。
- カートリッジの内部インピーダンス以下の値にしますと、低域
不足で中高域が細く硬質な音になります。

“MC”ポジションでこのスイッチを切り替えると、約1秒間
ミュート回路が作動して音が出ません。

5. リモート・コントロール

リモート・コマンダーRC-26の取り扱い方

本機に付属しているリモート・コマンダーRC-26を使うと、離れたところから次の機能をコントロールすることができます。

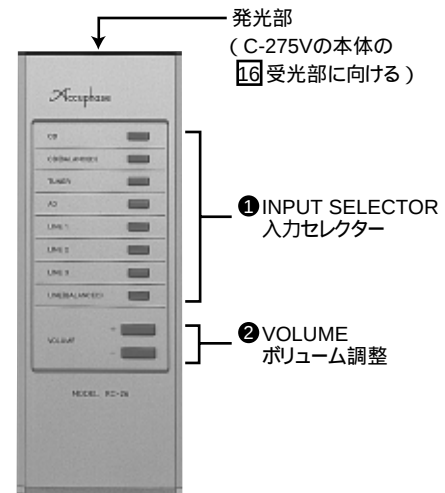
● 入力セクター

リアパネルの各入力端子に対応するプログラム・ソースを選択します。各ボタンを押しますと、INPUT SELECTORツマミの外周に、選択された入力ポジションのLEDが点灯します。

● VOLUME - ボリューム調整

本体ボリュームと連動しており $+$ を押し続けると、ボリューム・ツマミが右に回転し音量が増大します。また、 $-$ を押し続けていると左に回転し音量は小さくなります。

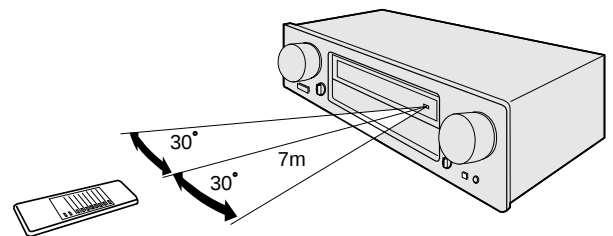
小刻みに押して微調整も可能です。



使用法

リモート・コマンダーの発光部を本体の 16 リモート・センサーに向けて、図の範囲内でお使いください。

- ・ 落としたり、内部に液体をこぼしたりしないでください。
- ・ 直射日光の当たる所や暖房器具のそばなど、温度や湿度の高い場所に置かないようにしてください。



電池について

■ 電池の交換時期

電池は普通に使って約8ヵ月は動作しますが、操作距離が短くなってきたら交換時期です。完全に消耗しますと、ボタンを押してもコントロールできなくなります。

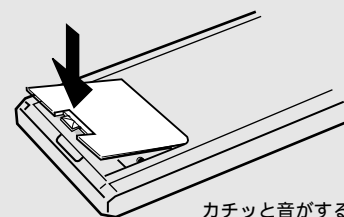
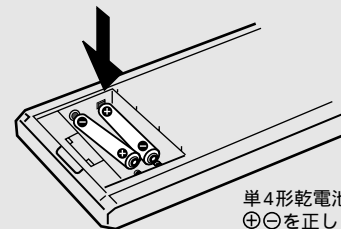
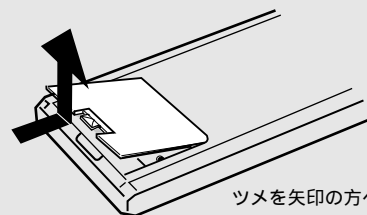
使用する電池は、単4形を2個、両方とも新しい電池に交換してください。

⚠ 注意

乾電池は正しく使わないと、液漏れや破裂などの危険があります。次の点に十分ご注意ください。

- ・ 電池の向きはコマンダーのケースに示されている通り、 $\oplus$ (プラス) $\ominus$ (マイナス) を正しく合わせてください。
- ・ 新しい電池と、1度使用したものを混ぜないようにしてください。
- ・ 同じ形状でも、性能の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないようにしてください。
- ・ 長時間にわたりコマンダーを使わないときは、電池を抜いておいてください。
- ・ 万一、液漏れを起こしたときは、当社品質保証部にご連絡ください。

乾電池の交換



6. ご使用方法

■ 使用される前に

*アナログ・ディスク再生の場合には、フォノイコライザー・ユニット AD-275V(AD-275も可)の増設が必要です。

*POWERスイッチを入れる前に、各機器の接続をよく確かめてください。

ツマミ、スイッチの位置を確認します。

- VOLUME : 下げた(左にまわしきった)状態
- OUTPUT : ON
- TAPE RECORDER : REC OFF
- TAPE COPY : OFF
- MODE : STEREO(LED消灯)
- PHASE : 正相(LED消灯)
- ATTENUATOR : OFF
- TONE、FILTER、COMP : OFF(LED消灯)
- BALANCE : センター

CDをお楽しみになる場合

CDプレーヤーのアナログ出力をリアパネルのCD入力端子(またはTUNER、LINE端子)へ接続してください。また、CDプレーヤーがバランス出力を装備している場合は、バランス用「CD/LINE INPUTS」端子をご使用ください。

接続終了後は、次の手順で操作をしてください。

- ① VOLUMEが下がっていることを確認し、本機と共にCDプレーヤー、パワーアンプの電源を「ON」にしてください。
- ② 入力セクターでCDポジション(または入力したポジション)を選択してください。
- ③ CDプレーヤーを演奏状態にして、VOLUMEを上げると演奏が聴こえてきます。ボリュームを調整して再生状態を確認してください。
- ④ MODEスイッチをモノフォニック状態にし、音像が中央に定位することを確認したら、コンペンセーター、アッテネーターなどの効果具合をお試しください。

アナログ・ディスク(AD)をお楽しみになる場合

オプションで、フォノイコライザー・ユニット(AD-275V)を増設します。

*レコード・プレーヤーの出力ケーブルを入力端子[25]へ正しく接続してください。プレーヤーの出力ケーブルといっしょに出ているアース線はGND(グラウンド)端子[26]へ接続します。

接続終了後は、次の手順で操作をしてください。

- ① VOLUMEが下がっていることを確認し、本機や関連機器の電源スイッチを入れて、入力セクターの、「AD(OP)」ポジションを選択してください。
- ② 使用するカートリッジにより、[27] CARTRIDGEスイッチでMMかMCを選択します。
MC使用の場合には、[28] MC LOADスイッチでインピーダンスも選択してください。
- ③ カートリッジをレコード面におろし、ボリュームを上げていくと演奏が聴こえてきます。ボリュームを調整して再生状態を確認します。
- ④ レコードに大きな反りがあったり、超低域の振動でスピーカーの振動板がゆれたりする場合は、[6] FILTERボタンをONにすると、超低域ノイズによる可聴帯域への影響を軽減することができます。

チューナーで放送を聴く場合

チューナーの出力ケーブルを[18] TUNER入力端子(またはCD、LINE端子)へ接続します。また、チューナーがバランス出力を装備している場合は、[19] バランス用「CD/LINE INPUTS」端子をご使用ください。

CD再生と同じ要領で入力セクターを合わせ、他のスイッチ類のポジションを確認してください。チューナーが放送局に同調していれば、ボリュームを上げると放送が聴こえます。

テープレコーダーで録音・再生をする場合

リアパネルの[20] TAPE-1(またはTAPE-2)にテープレコーダーを接続します。

- | | |
|---------|---------------------|
| REC 端子 | テープレコーダーのLINE IN端子 |
| PLAY 端子 | テープレコーダーのLINE OUT端子 |

再生: プレイバック

② TAPE RECORDERスイッチでTAPE 1(またはTAPE 2)に合わせ、テープレコーダーを再生状態にすれば再生音を聴くことができます。

テープレコーダーを再生だけに使用する場合、AD以外の各入力端子を使うことができます。

録音: レコ - ディング

レコーディングをする場合は、次の手順で操作をしてください。

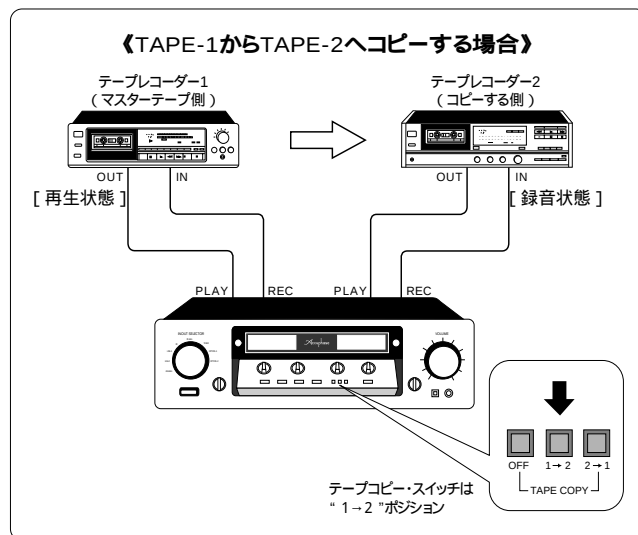
- 録音するプログラム・ソースを入力セクターで選択し、スピーカーから音を出して確認してください。
- TAPE RECORDERスイッチをSOURCEポジションにします。テープレコーダーへの信号がREC端子から出力されます。
- テープレコーダーの録音をスタートすれば、スピーカーから出ている音が録音されます。
- 本機のボリュームやBALANCEなどは、録音される音には関係しませんので音量を下げて静かに録音することができます。録音レベルは、レコーダー側で調整してください。
なお、MODEスイッチがモノフォニック状態(LED点灯)になっていると、録音出力もモノフォニックになってしまいますから注意してください。
- TAPE RECORDERスイッチをTAPE 1(またはTAPE 2)へ切り替えると、録音を続けながら、録音されたテープのモニターができます。(3ヘッド・テープレコーダーの場合)
- TAPE 1,2の各REC端子には同じ信号が出力されますので、2台のテープレコーダーで同時録音も可能です。

テ - プコピ -

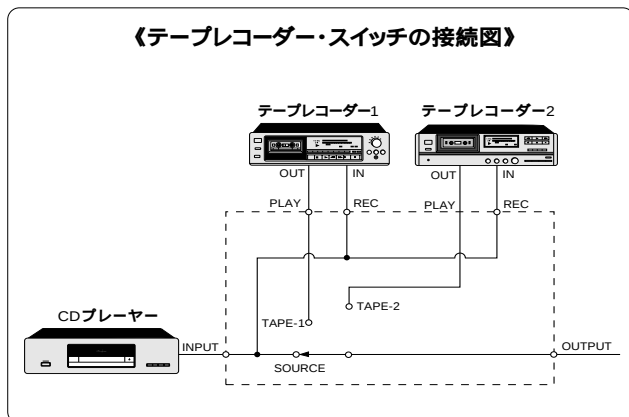
本機にはTAPE COPYスイッチがついていますので、他のプログラム・ソースを聴きながら、まったく独立してテープレコーダー相互間でコピーすることが可能です。ただし、電源OFFの間にはできません。

操作は次の手順で行なってください。

- TAPE 1側をマスターとしてTAPE 2へコピーする場合は、⑧テープコピー・スイッチを"1→2"ポジションにします。逆の場合は"2→1"にしてください。
- マスター側のテープレコーダーを再生状態、コピー側のレコーダーを録音状態にすればコピーができます。
- "1→2"でコピーをしている場合は、TAPE RECORDERスイッチを"TAPE 1"にするとマスター・テープの音が、また、"TAPE 2"にするとコピーされたテープの音が聴けます。"2→1"のときは逆になります。



《テープレコーダー・スイッチの接続図》



電源 OFF時のチューナー録音

本機はロジック・リレーコントロール回路を使用しています。このため、電源OFFの場合、リアパネルのTUNER端子に接続されている信号が、TAPEのREC端子に出力されます。入力セクターやTAPE COPYスイッチなどの位置に関係ありませんから、チューナーなどをタイマーで留守録音するときには、本機の電源を入れなくても録音が可能になります。

7. 保証特性

*保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる。AD:アナログ・ディスク。

*特性はフォノコライザー・ユニットAD-275V増設時を示す。

周波数特性

BALANCED / UNBALANCED INPUT

3 ~ 300,000Hz +0 -3.0dB

20 ~ 20,000Hz +0 -0.2dB

AD INPUT

20 ~ 20,000Hz ±0.2dB

全高調波ひずみ率(全ての入力端子にて)

0.005%

入力感度・入力インピーダンス

入力端子	入 力 感 度		入力インピーダンス
	定格出力時	0.5V 出力時	
AD : MM	4.0mV	1.0mV	47kΩ
AD : MC/60dB	0.25mV	0.063mV	10/30/100Ω
AD : MC/66dB	0.125mV	0.0315mV	10/30/100Ω
BALANCED	252mV	63mV	40kΩ
UNBALANCED	252mV	63mV	20kΩ

定格出力・出力インピーダンス

BALANCED OUTPUT :2V 50Ω XLRタイプ・コネクター
UNBALANCED OUTPUT :2V 50Ω RCAフォノジャック
TAPE REC :252mV 200Ω AD入力時

S/N・入力換算雑音

入力端子	入力ショートIHF-A補正		EIA S/N
	定格出力時S/N	入力換算雑音	
AD : MM	90dB	-138dBV	91dB
AD : MC/60dB	79dB	-151dBV	84dB
AD : MC/66dB	75dB	-153dBV	84dB
BALANCED	114dB	-126dBV	96dB
UNBALANCED	116dB	-128dBV	96dB

最大出力レベル(ひずみ率 0.005% 20~20,000Hz)

BALANCED OUTPUT : 6.0V XLRタイプ・コネクター
UNBALANCED OUTPUT : 6.0V RCAフォノジャック
TAPE REC : 6.0V AD入力時

AD最大入力電圧(ひずみ率 0.005%)

MM INPUT : 125mV
MC/60dB INPUT : 8mV
MC/66dB INPUT : 4mV

最小負荷インピーダンス

BALANCED OUTPUT : 600Ω
UNBALANCED OUTPUT : 600Ω
TAPE REC : 10kΩ

ゲイン

BALANCED INPUT → BALANCED OUTPUT : 18dB
BALANCED INPUT → UNBALANCED OUTPUT : 18dB
BALANCED INPUT → REC OUTPUT : 0dB
UNBALANCED INPUT → BALANCED OUTPUT : 18dB
UNBALANCED INPUT → UNBALANCED OUTPUT : 18dB
UNBALANCED INPUT → REC OUTPUT : 0dB
AD[MM] INPUT → BALANCED OUTPUT : 54dB
AD[MM] INPUT → UNBALANCED OUTPUT : 54dB
AD[MM] INPUT → REC OUTPUT : 36dB
AD[MC:60/66dB] INPUT → BALANCED OUTPUT : 78/84dB
AD[MC:60/66dB] INPUT → UNBALANCED OUTPUT : 78/84dB
AD[MC:60/66dB] INPUT → REC OUTPUT : 60/66dB

ラウドネス・コンペンセーター

1:+3 dB(100Hz)
2:+6 dB(100Hz)
3:+6 dB(100Hz)+6 dB(20kHz)

トーン・コントロール

ターンオーバー周波数および可変範囲

低音(BASS) :300Hz ±10dB(50Hz)
高音(TREBLE) : 3kHz ±10dB(20kHz)

サブソニック・フィルター 25Hz -12dB/octave

アッテネーター -6dB、-20dB、-30dB

ヘッドフォン端子 適合インピーダンス 4~100Ω

電 源 100V 50/60Hz

消費電力 25W

最大外形寸法

幅475mm × 高さ150mm × 奥行404mm
(AD-275V増設時:奥行413mm)

質 量 21.7kg(AD-275V増設時22.5kg)

付属リモート・コマンダー RC-26

リモコン方式 : 赤外線パルス方式

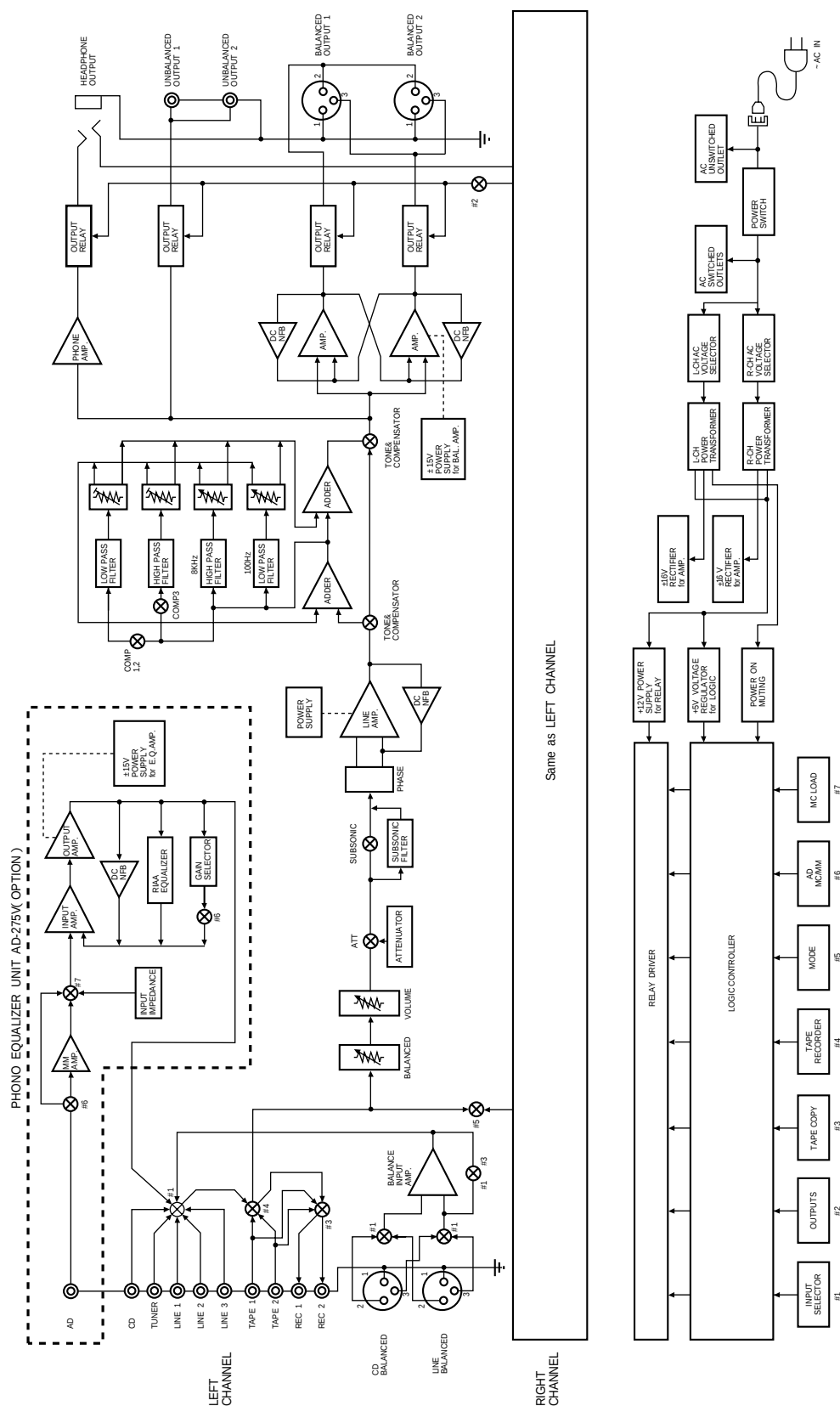
電 源 : DC 3V・乾電池 単4形2個

最大外形寸法 : 66mm×175mm×20mm

質 量 : 190g(電池含む)

本機の特長および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

9. ブロック・ダイアグラム



10. 故障かな?と思われるときは

故障かな?と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。

これらの処置をしても直らない場合には、当社品質保証部または当社製品取扱店にご連絡ください。



注意：接続を変える場合には、必ず各機器の電源を切る。

電源が入らない

- 電源コードが抜けていませんか。

音がでない

- ソース側機器やパワーアンプの電源は入っていますか。
- 接続コードは正しく接続されていますか。
- 入力や出力切替スイッチの位置を確認してください。

片側のスピーカーから音が出ない

- 接続コード、スピーカーコードは正しく接続されていますか。
- ソース側機器や本機のスイッチ類は正しい位置ですか。
(バランスの位置など)
- 本機とパワーアンプ間の接続コードを左右入れ替えてください。
同じ側から音がでない……… パワーアンプやスピーカー側に原因が考えられます。
左右逆の状態になる……… 本機やソース側機器に原因が考えられます。
- 次に本機への入力接続コードを左右入れ替えてください。
同じ側から音がでない……… 本機に原因が考えられます。
左右逆の状態になる……… 接続コードやソース側機器に原因が考えられます。

リモートコマンダーで操作できない

- 電池は入っていますか。
- 新しい電池に交換してみましょう
- 受光部付近に障害物はありませんか。

11. アフターサービスについて

保証書

- 保証書は本体付属の「お客様カード」の登録でお送りいたします。
- 保証書の記載内容により保証期間はご購入日から3年間です。
- 保証書がない場合には、保証内修理をお断りする場合があります。よくお読みのうえ、大切に保存してください。
- オプション・ボードやオプション・ユニットにはお客様カードは付属していません。

保証期間が過ぎてしまったら

- 修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
 - 補修部品の保有期間は、製造終了後最低8年間となっています。
- 使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。

その他

- 改造されたものは修理ができない場合があります。
- 本機の故障に起因する付随的損害（営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等）については補償できません。
- AC100V以外（海外）では使用できません。

保証は日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

- ご質問、ご相談は当社品質保証部または当社製品取扱店にお願いいたします。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部
〒225-8508
横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL 045(901)2771(代表)
FAX 045(901)8995

修理依頼の場合には

- “故障かな?”と思われる場合には、をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。（保証書参照）

- モデル名、シリアル番号
- ご住所、氏名、電話番号
- ご購入日、ご購入店
- 故障状況：できるだけ詳しく

梱包材は、輸送時に必要となりますので、保管しておいてください。



ACCUPHASE LABORATORY INC.

アキュフェーズ株式会社

横浜市青葉区新石川 2-14-10

〒225-8508 TEL(045)901-2771(代)